

ま ん よ う の う た

万葉の詩



社会福祉法人 万葉福祉会 役員会について



社会福祉法人 万葉福祉会
理事長 山中 俊彦

(法人の特徴)

社会福祉法人 万葉福祉会は昭和60年に法人認可を受け、昭和61年5月に現在の奈良市川上町において事業を開始しました。

万葉福祉会の特徴は、設立にあたって地域の高齢者福祉に対する熱い思いから、多くの方々の拠出によって設立されたことにあります。従って、通常の社会福祉法人のようにオーナーはいません。

万葉福祉会の基本方針・運営方針の策定や、予算・決算などの重要事項は、オーナーによる采配ではなく、すべて役員会によって民主的に議論され決定しているのです。



評議員会冒頭の理事長挨拶

(役員会の構成・役割)

役員会には、理事会と評議員会がありそれぞれ8名の理事、17名の評議員さらに2名の監事が選任されています。

理事会は法人の最高意思決定機関であり、また評議員会は施設運営について意見を述べるとともに、理事会の決定には評議員会の同意を得る必要があるなど、法人の諮問機関・チェック機関としての役割を果たしています。



法人の諸活動を評議員会で説明

(役員会の活動・思い)

理事会・評議員会は通常それぞれ年3回開催し、さらに必要に応じて随時開催します。

役員会は通常イメージされるような静かな役員会ではなく、創業当時の高齢者福祉に対する熱い思いが今に息づき、真剣な質問や意見が提示され、事務局がたじたじとなる事案もしばしばです。こうした役員会での議論や意見が万葉福祉会運営の原動力となっていると私は考えております。

今後とも高齢者福祉の拠点、万葉福祉会・万葉苑がより地域に根ざし、信頼される存在となるよう役員会の活躍を期待しております。



理事会での議論の様子

万葉苑事業所紹介

万葉苑ホームヘルプステーションと万葉苑訪問入浴介護サービスを紹介します。

【万葉苑ホームヘルプステーション 奈良市川上町281 TEL: 0742-27-3308】

～皆様の生活に寄り添いながら・・・在宅サービスの要！！～

現在、約50名の利用者様宅へ週1回から日に2～3回とニーズに応じて訪問しています。訪問エリアは川上町、般若寺、青山を中心に北は梅見台、南は大安寺、西は大宮、そして下狭川、柳生方面へ・・・。11名のヘルパーは30代から60代までベテラン揃い！です。小さな気付きを大切に、ご家族、ケアマネージャーや他の関係者の方々と連携を密に取りながら頑張っています。



掃除の支援が一番多い依頼です。



決められた時間内でテキパキと・・・。美味しいおかずを作ります。

～サービス内容～

- 身体介護（排泄・入浴・食事の介助等）
- 生活援助（掃除・洗濯・調理の支援等）

★自宅での生活を継続できるように、介護保険制度内で様々な支援を行います。



オムツ交換や、食事・服薬の介助等の様子です。



【万葉苑訪問入浴介護サービス 奈良市川上町281 TEL: 0742-27-3308】

～まごころと充実した入浴サービスを提供いたします！～

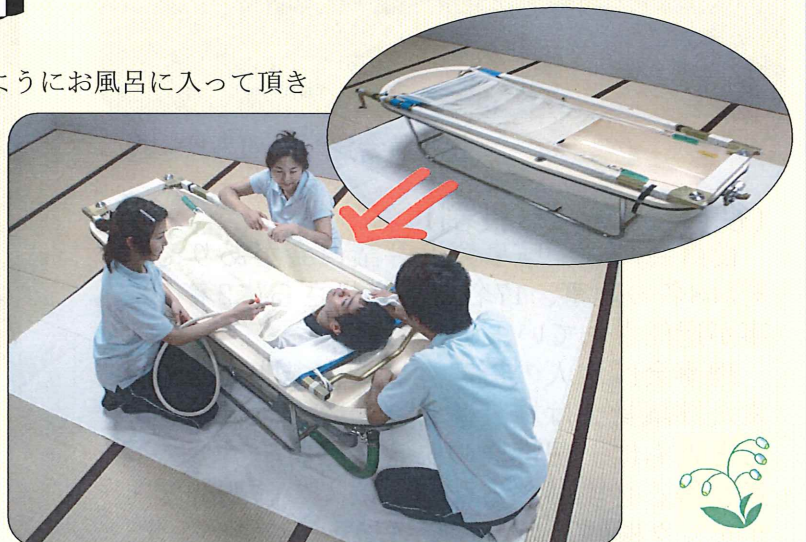
高齢や障がいなどに伴い入浴が困難な方のご自宅に浴槽を持ち込み、入浴サービスを提供します。経験豊かなスタッフ3人（看護師、介護士2名）による安全安楽な入浴を楽しんで頂き、心身共にリラックスして頂けます。また、季節ごとの様々な趣向を凝らした入浴を行っています。希望があれば爪きり、シーツ交換などもさせて頂いております。

スタッフ一同、よろしくおねがいします。

このような浴槽で



このようにお風呂に入って頂きます。





万葉・写真日記（秋～冬）



平成23年9月 万葉苑大宮デイサービスセンター

恒例『敬老の日』のあたる1週間にお客様方にお茶とお菓子のサービスをしました。『敬老の日』を記念してボランティアの方々が懐かしい歌で楽しませてくれました。



ボランティアさんとの楽しいひと時

平成23年10月 特別養護老人ホーム万葉苑「日帰り旅行」
～in海遊館～

今年の日帰り旅行は海遊館に行ってきました。あいにくのお天気でしたが、お客さんでいっぱいでした。館内を散策した後の昼食は、いつもと違う雰囲気の中で食べるためか皆さんの箸がすすんでいました。

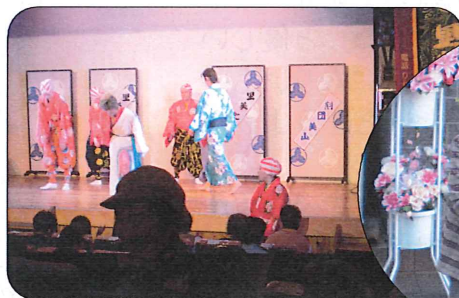


魚って結構大きい！



平成23年10月 ケアハウス万葉

10月12日(水)レンタカーを借りて高田市にある弁天座に大衆演劇を観に行きました。秋晴れの中、全員初めてでワクワクドキドキの体験となり、きらびやかな世界に日常を忘れる楽しい一時を過ごされ、また来たいと大変喜んでいました。



役者さんと記念撮影、パチリ！



平成23年11月 万葉苑デイサービスセンター

毎年恒例となりました『鍋会』を11月の2週にわたり6日間行いました。暖かいお鍋を囲んでいただき、皆さんの会話も弾みにぎやかな昼食となりました。



寒い冬にはみんなで鍋！

万葉苑医務室より



寒い朝が多くなってきましたね。『インフルエンザ』予防していますか？最近では『インフルエンザ』は季節が関係なくなってきました。年間を通しての予防を心がけてください。ここで『インフルエンザ』についておさらいしてみます・・・

症状 風邪によく似た症状です。38.0℃を超えた熱が出た場合『インフルエンザ』を疑ってください。その他に悪寒や関節の痛みも伴うのが特徴です。

対処 早めの受診をお勧めします。感染力が強い為外出時はマスクを着用してください。受診された方は処方された薬を処方どおりに必ず服用してください。食欲のある方は出来るだけ三度の食事をとって栄養を蓄え、睡眠をしっかりとりましょう！

予防 日頃から自身の免疫を高めるために、
《 食事 睡眠 適度な運動 》を心がけ、人混みに行く時はマスクを着ける！です。

万葉苑でも入居者様には「手洗い・うがい・早めのマスク」の取り組みを始めています！

特集！

万葉苑にやってきた「実習生の声」を紹介

～万葉苑での実習を通じて感じたこと～

村田 和香奈さん(佛教大学)



今回初めての高齢者施設での実習で高齢者分野での知識も少なく、始まる前は正直不安で足取りも重かったのですが、実習が始まると、万葉苑の職員さんも入居者さんもアットホームで不安な気持ちも徐々に薄れ、笑顔じゃなかった日はありませんでした。

実習では実際に介助もさせてもらい、不慣れでぎこちない介助で申し訳ない気持ちで一杯でしたが、職員さんは大きな気持ちで見守って下さり、入居者さんも「ありがとうね」と優しい言葉をかけてくれたのでそれが励みになり、もっと思いに寄り添える介助がしたいと思うようになりました。

また、入居者さんと一緒に歌を歌ったり、カルタ遊びをしたり昔話を聞かせてもらったりと楽しい時間を過ごすことが出来ました。

私の中で、介護職は大変な仕事、というイメージだったのですが、とてもやりがいのある仕事だと感じる事が出来ました。充実した実習をさせてもらい嬉しく思っています。

吉川 沙友里さん(青丹学園)

私は万葉苑で23日間の実習をさせて頂きました。この期間の中で利用者の方とのふれあいやお話を通じて介護福祉士としての心を学んだように思います。万葉苑では年内行事が毎月のようにあって様々なものを含めると週に1回はなにかがありました。その全ては利用者の方に喜んで頂き、日々の生活を少しでも楽しんで頂きたいという願いからであると感じました。私の実習期間中にも敬老会や運動会、日帰り旅行などの催し物があり、利用者の方の笑顔



は忘れるることができません。私は職員の方のように動けません利用者の方に少しでも笑顔になって頂こうと試行錯誤する毎日でもありました。実習を終えて今感じることは、人が好きであるからこそやりがいのある仕事であるという気持ちです。これから就職し介護福祉士として働きますが相手の立場に立ち相手の気持ちになって考える事がいかに大事であるか学べたと思います。今の気持ちを忘れず、利用者の方と信頼関係を築くことの出来る介護福祉士になりたいと思いました。

丸岡 晃嗣先生(京都福祉専門学校)

何度か実習を担当させて頂いて、思うことは『その人らしく』を大切にされたケアをされているという事です。緑に囲まれすばらしい環境ではあり、職員の方々がソフト面(環境)を創意工夫(家庭的な雰囲気を出すために、木目調の壁紙やのれん・ソファ・家具・竹・戸...等使用)され、入所施設では「生活の場」として大切に考えられておられます。入所される以前のその方の生活習慣や経験・趣味・性格などを理解したうえで、例え、その方が一人であっても落ち着ける場・安心できる環境(空間づくり)など、また、セルフケア(自分でできる事)を大切にされ、その方にあった個別ケアがなされています。通所や短期入所施設では、御利用者はおお客様であり、家庭の延長でもあるので特別なケアをするのではなく、その方の生活やケアのリズムを崩さないように考えられ「くつろげる場」の環境づくりに力を入れておられると実習巡回に行く度にそう思います。「その人がその人らしく」過ごされるには、どうすべきかを、常に念頭において、実践されています。『介護は考える杖(支える)である』と、私は考えています。実習させて頂いて、根拠(エビデンス)に基づいたケアを実践され、その重要性や人的環境の大切さをいつも指導して頂いています。この考える力が、介護福祉士としての幅を広げ、多くの引き出しを持つことに繋がります。

これからも、「考えることの大切さ」と「介護の魅力」を教えてくださいますようお願いいたします。

発行者：社会福祉法人万葉福祉会

住所：〒630-8202 奈良市川上町875番地の1

電話：0742-27-1887

ホームページ：http://www.manyoen.jp

メールアドレス：info-manyoen@orion.ocn.ne.jp